

桜蔭俳話会 五月句会 (第三七五回)

令和元年五月十九日(日)

港が見える丘公園 と その周辺で吟行。

句会場は、大佛次郎記念館 会議室

- 4点①白薔薇や少し猫背の身を起こす 守
- 3点①生きてゐるけふの青空蟻の道 守
- 2点①雨上りハワイの虹が見える丘 眞壽
- 2点①薔薇の門見えぬドレスの裾つまみ 秀夫
- 2点①紅薔薇や子らのたましひ解き放つ 守
- 2点 クルーズ船の予約を入れる夏初め 眞壽
- 2点 海を向く異人の墓標薄暑光 友子
- 2点 水彩の空を自在に黒い蟻 秀夫
- 2点 園丁の施肥の豊かに薔薇開ける 明美
- 1点①夏めくや傷一つなき海の紺 守
- 1点 舷に凭れてゐたるアロハかな 明美
- 1点 教会の美しき葬儀や春別れ 幸
- 1点 蟻の穴細胞にある力かな 守
- 1点 薔薇園をめぐる靴音天に消ゆ 守
- 1点 薔薇の香や初恋の日を遠くして 友子
- 1点 マチュピチの遺跡を囲み草茂 眞壽
- 1点 薔薇に酔ふ二人錯覚の愛生まる 友子
- 1点 海の青薔薇のほむらの限りなし 守
- 1点 青葉闇英字が偲ぶ御魂あり 秀夫
- 1点 ゲーテ座のレンガ隠るるほどの薔薇友子 友子
- 1点 十字抱く墓石見守る姫女苑 秀夫
- 1点 行きたいなオーストラリアに風薫る眞壽 眞壽
- 1点 西洋館の色どり豊か夏の色 幸
- 1点 薔薇の香のシャワー港の見える丘 友子
- 1点 フランス山の開港の史や緑さす 友子
- 1点 夏たつや外人墓地の風の色 邦子
- 1点 薔薇園の聞こえる言葉多種多様 邦子
- 1点 ナホトカの航路はるけし夏海 幸

- 初夏の大佛次郎記念館 守
- 薔薇園やポーズの犬の撮影会 友子
- 緑陰に入れば憩へる吟行日 邦子
- 庭すみにとり残されし草莓 邦子
- 着岸の白き水兵クルーズ船 幸
- 遠来の客船見えし夏の寺 眞壽
- 深紅の薔薇を捉へしスマホかな 明美

- 作家たちの生き方さまざま春愁 幸
- 筆を手にバラの香さわやか吟行日 邦子
- 初夏の海向うにありしラスベガス 眞壽
- 夏めきて港に船の銅鑼の音 明美
- 文学館へ霧笛橋超え若葉風 友子
- 遺伝子の影をまとひし蟻のかほ 守
- 白服の過る改札電子音 守
- 薔薇に顔寄せて自撮りの腕伸ばす 明美
- ナイル河舟から仰ぐ夏の星 眞壽
- 倉庫の奥へ小麦の袋あまた入る 明美
- チューブから絵具絞り出し夏の花 秀夫
- 山手墓地の生麦事件や花満開 幸
- 夏日の船波をけたてて遠ざかる 眞壽

「事務局からお知らせ」

○六月句会

六月二十三日(日)、旭区民文化センター(サンハート)でおこないます。兼題は、「蛍」です。

○七月句会

七月二十九日(月)旭区民文化センター(サンハート)で行います。

月曜日ですので、お気をつけください。

○八月は、句会は休みです。